

「第8回豊洲新市場予定地の土壌汚染対策工事に関する技術会議」の概要

1 日時

平成20年12月15日(月) 17:00~19:00

2 場所

東京都庁第一本庁舎

3 出席委員

原島文雄座長 ほか4名

4 検討項目

(1) 提案内容に対するヒアリング

公募提案のあった事業者に対し、複数の対策案を比較検討するうえで必要となる実証データの詳細や経費の内訳、施工方法の詳細などについてヒアリングを実施し、その結果について報告した。

(2) 汚染物質処理、液状化対策などを含む一貫した対策

各委員が推奨した技術・工法をもとに策定した複数の対策案について、工事手順の精査や埋立用土としての活用を踏まえ、改めて経費試算の考え方などを説明した。

(3) 前回会議からの課題整理

前回の会議で課題となっていた、水質検査の対象物質や測定頻度、砕石層設置、管理水位のレベル等地下水管理に関する考え方について確認した。

また、工期の異なる工法の比較方法、地下利用の方法と問題点についても確認した。

(4) 土壌汚染対策全体を網羅した提案

ア 公募提案のうち、汚染土壌・汚染地下水対策、液状化対策、地下水管理システムを全て含む8件の提案について、提案内容を土木、環境など専門分野の委員ごとに行った評価の結果を確認した。

イ 一事業者で、汚染土壌・汚染地下水対策、液状化対策、地下水管理システムについて、それぞれの項目で個別技術を提案している場合があり、これらを組み合わせることにより、土壌汚染対策全体を網羅する対策となる2件について、その内容を説明した。

(5) 技術会議報告書等

報告書の構成や会議資料等の公表に関する考え方について確認した。